

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

黙祷	申命記 6:6-7	御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美	13番	
*交読文	44番	
*使徒信条	会衆一同	
*頌栄	9番	
礼拝のための祈り	1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人	
賛美	533番	
聖餐式	281番	
メッセージ	御言葉により再建される能力と品性(詩篇 19:7-14)	
御言葉を適用する祈り	会衆一同	
賛美	178番	
献金感謝の祈り	パスター	
報告と歓迎	パスターと川合働き人は本日より土曜まで韓国へ出張します。	
*主の祈り	会衆一同	
*祝祷	パスター	

祈祷課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

主のおきては完全であって、___の魂を生きかえらせ、主のあかしは確かであって、無学な者を賢くする。主のさとしは正しくて、___の心を喜ばせ、主の戒めはまじりなくて、___の眼を明らかにする。主を恐れる道は清らかで、とこしえに絶えることがなく、主のさばきは真実であって、ことごとく正しい。これらは金よりも、多くの純金よりも慕わしく、また蜜よりも、蜂の巣のしたたりよりも甘い。

___は、これらによって戒めをうける。これらを守れば、大いなる報いがある。だが___のあやまちを知ることができましようか。どうか___を隠れたとがから解き放ってください。また、あなたのしもべ___を引きとめて、故意の罪を犯させず、これに支配されることのないようにしてください。そうすれば___はあやまちのない者となって、大いなるとがを免れることができるでしょう。(詩篇 19:7-13)

今年に入って以来、当教会設立のビジョンである「礼拝の再建」についてネヘミヤ記から特に学んでいるが、今回は久しぶりに、テフィリンやユダヤ式教育、すなわち、御言葉教育がどんなに優れているか、御言葉が人に入るなら、いかに人となり改善され、人生の再建にいかにも有用であるか、を今一度確認したい。

御言葉がどれ程素晴らしいものであるか、まさしく以下の詩篇に記されている通りである。
『主のおきては完全であって、魂を生きかえらせ、主のあかしは確かであって、無学な者を賢くする。主のさとしは正しくて、心を喜ばせ、主の戒めはまじりなくて、眼を明らかにする。主を恐れる道は清らかで、とこしえに絶えることがなく、主のさばきは真実であって、ことごとく正しい。』(詩篇 19:7-9)

主の言葉とはそのようなものであり、人に主の言葉が入るなら、その人はより完全なものへと変えられ、魂は生きかえり、無学な者も賢くなる。また、心は喜びに溢れ、眼も明るくなる。主を恐れる道を歩むなら、決して間違える事が無いばかりか、どんどん清らかになって行く。まさしく、良い事づくしである。

そもそも、なぜ神の似姿として創られた人間の成り立ちは、破壊され崩されてしまったのか。それは、人が主の言葉から離れ、蛇(サタン)の言葉を信じ、それに従い、騙されるままに「善悪の知識の木」から取って食べてしまったからだ。このエデンの園の失敗以来、人は神から離れ、自分で善悪判断し、サタンの言葉と混じってしまった故に、妬み、怒り、騙し合い、殺しあつたりするようになってしまった。

信仰(サンスクリット語:ビヒド)の元々の意味は、「連合する、結ぶ」の意味があり、人はどの言葉と結び合うかによってその人となり決定して行く。誰かが何気なく口から出た良くない言葉を、ぐるぐると思い巡らすなら、必ず病んでしまうように、私達はどの言葉と混じり合うべきか、それによくよく気をつけたほうが良い。

だからこそ主は、サタンによって壊されてしまった本来の人間性を回復するために、次のように命じられたのだ。『私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。』(申命記 6:6)

ユダヤのハカダ(反復)教育の本質は、この申命記 6:6にある。彼らは徹底的に御言葉を反復して心の板刻みつけている。それによって、人に本来与えられていた能力や性質の回復が、進んで行くのだ。

聖書を暗唱する時、性格と品性、脳の3つが開発される。ある人はIQ124の人が164になり、性格も素晴らしくなった。聖書暗唱によって、どんなに曲がった人でも変えられるのだ。なぜなら、神の言葉がその人に入り、混じり、そうして神の子としての品性が戻って行くからだ。

ユダヤ人の伝統的な教育法に「ハブルタ」というものがある。それは二人がペアになって、ある主題について会話し合う事だ。互いに議論し合う事で、相手の言葉を聞いて理解する能力、会話し意思疎通する能力、人を説得する理論を、向上させるのだ。これらをユダヤ人達は、小さい頃から学んでいるのだ。

人が効果的に物事を覚え、学習するために、有効な方法を、NTL 国際訓練研究所が研究した。それによると、人は講義を「聞く」だけでは、5%しか覚えない。だから100%覚えるには20回聞かなくてはならない訳である。しかし「読む」なら、10%覚える。また、目、耳を用いる視聴覚教育は、20%覚えるようだ。また、ある課題について講壇に出て講義をしたり、集団議論をするなら、50%記憶するようである。もっと有効なのは、教えられた通りに、実際に自分が実践してみる事である。これは75%覚えるそうである。そしてハブルタ教育、すなわち、二人が向かい合って、同じ主題を説明し合うなら、90%覚えるそうである。

確かにユダヤ人の教育法は優れているが、完全ではない。なぜなら彼らにはイエス・キリストを信じる信仰が無く、また彼らが心に刻みつけているのは旧約聖書のみで、福音も、救いも、永遠の命も無いからだ。御言葉教育を、単に頭脳や能力を開発する事に目的を置くなら「有害な天才」を生み出してしまふ危険性があり、本人自身を破滅へと導いてしまうものだ。あのソロモンのように。彼は誰よりも頭が良く、金や名誉、女を誰よりも多く手に入れたが、信仰が破綻してしまった故に、人生の終わりは全てが虚しくなってしまった。

だから教育の本質は、天才や金持ちを生み出す事ではなく、神を恐れ敬う信仰のしっかりした、神の子を育て上げる事である。神は元々、罪なき神の似姿である人に対し、産んで増えて地に満ちていく祝福を与えられた。御言葉によって教育し、教育され、神の子として産んで増えていく皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://www.youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube